

1975-2025

10th anniversary exhibition

Reflecting encounters with the now

Japanese contemporary glass 1975-2025



開館10周年記念
めぐりあう今を映す
日本の現代ガラス1975-2025

2025 11.1 sat — 2026 1.25 sun

富山市ガラス美術館 2・3階 展示室1-3
Toyama Glass Art Museum Exhibition Rooms 1-3, Floors 2-3

松尾里奈(unknown unknowns)2023年 作家蔵



富山市ガラス美術館
TOYAMA GLASS ART MUSEUM



濱田能生《藍黄硝子墨流花燈》2001年
硝子陶芸美術展 撮影：横堀聡



高橋禎彦《ARC》1999年 富山市ガラス美術館蔵
撮影：高橋孝



行武治美《中間鏡》2003年 作家蔵
©Masashi Kurumoto



笹川親《Discontinuous》2024年 作家蔵
©Masashi Kurumoto



佐々木類《Reminiscences of the Garden from Jacob Knapp》
2022-2023年 作家蔵 撮影：米田雄 写真提供：マナー・ロー・キヤノン



寺島孝恵《生け花》2023年 作家蔵



開館 10 周年記念

めぐりあう今を映す

日本の現代ガラス 1975 – 2025

10th anniversary exhibition

Reflecting encounters with the now

Japanese contemporary glass 1975–2025

富山市ガラス美術館の開館10周年を記念し、日本の現代ガラス芸術の歴史と現在を紹介する展覧会を開催します。国内では1970年代後半から、作家個人が自らの手でガラス制作を行う動きが本格的に広がり始めます。作家の多くが会社に所属し、素材を扱う作業を職人と共に行っていた従来のあり方から転換した背景には、1977年に日本初のガラス専門課程が多摩美術大学に開設されたことや、1978年の第8回世界クラフト会議・京都を契機とする、ガラス芸術分野での国際交流の拡大がありました。作家たちは実験精神をもってこの素材と関わりながら、ガラスだからこそ生まれ得る表現を追求してきました。さらに1990年代にかけての空間的かつ大規模な表現への展開を経て、2000年代に入ると、作家独自の制作手法を編み出す動きの活発化や、変化し続ける社会情勢と呼応するような作品の増加により、ガラス表現はますます多様な広がりを見せています。本展覧会では今日にいたる激動の50年の動向を振り返りながら、各時代を代表する作品や、ガラスの新たな可能性を提示する表現を紹介します。様々な巡り合わせの中で生まれる、作家たちの「今」の実感が映し出された作品の数々をお楽しみください。

出品作家：伊藤孚、濱田能生、ジョエル・フィリップ・マイヤーズ、藤田喬平、浅原千代治、マーヴィン・リボフスキー、アン・ヴォルツ、フィン・リンガード、ハーヴェイ・K・リトルトン、ドミニク・ラビノ、倉本陽子、野田収、野田由美子、高橋禎彦、渋谷良治、池本一三、大村俊二、西悦子、扇田克也、行武治美、多田美波、イワタル、吉本由美子、高橋禎彦・田嶋悦子、瀧川嘉子、生田丹代子、家住利男、神代良明、津守秀恵、度會保浩、竹岡健輔、藤掛幸智、佐々木雅浩、塚田美登里、小島有香子、伊藤真知子、小川郁子、江波富士子、山本茜、大室桃生、渡辺知恵美、佐々木類、小田橋昌代、笹川健一、本郷仁、小曾川瑠那、横山翔平、今井瑠衣子、広垣彩子、佐藤静恵、小林千紗、寺澤季恵、松尾里奈、ほか(展示導線順)

関連プログラム

ワークショップ

「キルンワークでガラスのオブジェを作ろう」

- 日時：12月6日(土)、13日(土)
各日午後1時30分から3時間程度
- 会場：富山ガラス工房第2工房
- 講師：渋谷良治(本展出品作家)
- 対象：小学5年生以上(小学生は要保護者同伴)
- 定員：各回12名程度
- 参加費：2,000円、事前申込み制(応募多数の場合は抽選)
- 両日の参加が必要です。

出品作家によるクロストーク

「日本の現代ガラスの黎明期を語る」

- 日時：12月21日(日) 午後1時30分から2時間程度
- 講師：野田収、野田由美子、渋谷良治
- 会場：富山市ガラス美術館2階ロビー
- 対象：どなたでも
- 参加無料、申込み不要

特別講座

「日本のガラス芸術史」

- 日時：2026年1月10日(土) 各1時間程度
(1)「弥生から江戸時代まで」 午後1時30分から
講師：土田ルリ子(富山市ガラス美術館 館長)
(2)「明治から現代まで」 午後2時45分から
講師：中島春香(本展担当学芸員)
- 会場：富山市ガラス美術館2階ロビー
- 対象：どなたでも
- 参加無料、事前申込み制(応募多数の場合は抽選)

学芸員によるギャラリートーク

- 日時：11月15日(土)、12月14日(日) 各回午後2時から
- 場所：富山市ガラス美術館2・3階 展示室1-3
- 参加無料、申込み不要
- 展示室への入場には、本展観覧券が必要です。

※関連プログラムの詳細は美術館ウェブサイトや公式SNSなどでお知らせします。
※プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。
最新の情報は美術館ウェブサイトをご確認ください。

開場時間：午前9時30分～午後6時(金・土曜日は午後8時まで、1月2日(金)・3日(土)は午後5時まで、入場は開場の30分前まで)

開場日：第1・3水曜日、12月29日(月)～1月1日(木・祝)

観覧料：一般 1,200円(1,000円)、大学生 1,000円(800円) ()内は20名以上の団体 高校生以下無料 本展観覧券で常設展(4階、6階)もご覧いただけます 会期中、美術館ウェブサイトからオンラインチケットを事前購入いただけます(通常料金のみ) 前売券取扱(会期前のみ販売)：一般 1,000円 TOYAMAキラリ1階 総合案内 アスネットカウンター(Tel. 076-445-5511)

主催：富山市ガラス美術館 助成：芸術文化振興基金

後援：北日本新聞社、富山新聞社、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ

Opening Hours: 9:30–18:00, [Fri.–Sat.] 9:30–20:00, [January 2–3] 9:30–17:00
(Admission ends 30 min. before closing time.)

Closed: First and Third Wednesdays, December 29, 2025 – January 1, 2026

Admission: General Public 1200 yen (1000 yen), College and University students 1000 yen (800 yen) *Price in brackets for groups of 20 or more *High school students and younger: Free *Tickets for Special Exhibition include admission to the Collection Exhibition (4F) and the Glass Art Garden (6F). *Tickets also available on the Museum website for advance purchase during the exhibition period (regular price only). Advance Ticket (General Public: 1000 yen) *Available before the exhibition opening at: TOYAMA KIRARI 1F Information and Help Desk; ASNET Counter (Tel. 076-445-5511)

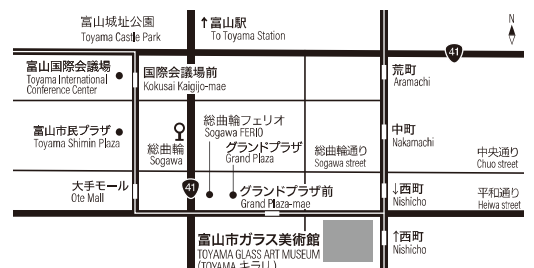
Organized by Toyama Glass Art Museum

Grants from Japan Arts Fund

Supported by THE KITANIPPON SHIMBUN, THE TOYAMA SHIMBUN, Japan Broadcasting Corporation Toyama Station, Kitanihon Broadcasting Co., Ltd., TOYAMA TELEVISION BROADCASTING CO., LTD., TULIP-TV INC.

交通アクセス

富山駅から：○徒歩20分 ○市内電車(南富山駅前行き)「西町(にしちょう)」下車 徒歩1分 ○市内電車環状線「グランドプラザ前」下車 徒歩2分 (富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約10分) **富山空港**から：○地鉄バス(富山駅前行き)直行/36系統「総曲輪(そうがわ)」下車 徒歩4分



富山市ガラス美術館
TOYAMA GLASS ART MUSEUM



〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel. 076-461-3100
toyama-glass-art-museum.jp

QR Translator.

